報道発表

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

平成 28 年 12 月 26 日

第 9 回 GEOSS アジア太平洋シンポジウム

～アジア太平洋地域における持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支援する地球観測～

（開催案内）

平成29年1月11日（水）～13日（金）、東京・お台場にて、地球観測に関する政府間会合（GEO: Group on Earth Observations）事務局及び文部科学省の主催により標記シンポジウムを開催しますのでお知らせします。

1. 本シンポジウム開催趣旨：

文部科学省は、地球観測に関する国際枠組である「地球観測に関する政府間会合（GEO）」事務局とともに、アジア太平洋地域における地球観測に関する研究者コミュニティの育成や同地域の環境問題等への共通理解を深めることを目的として、平成 19 年度より「全球地球観測システム（GEOSS: Global Earth Observation System of Systems）アジア太平洋シンポジウム」を開催してきました。

9 回目となる今回は、「アジア太平洋地域における持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支援する地球観測」をテーマに開催し、サンジャースレン・オヨーン世界水パートナーシップ議長／前国連環境総会議長及び岸輝雄外務大臣科学技術顧問による基調講演のほか、我が国を含めたアジア・太平洋地域の国及び国際機関等の GEOSS への取組み状況の紹介を行います。

また、水循環、生物多様性、温室効果ガス監視、海洋観測及び食料安全保障の 5 分野の分科会を設け、SDGs を始めとする、地球環境課題の解決に向けた世界的取組みに対して GEOSS が行う貢献について、分野横断的な観測、予測、データ共有及び情報提供の推進の観点から、具体的な行動につなげるための議論を行います。

なお、最終日には、持続可能な開発の実現に向けて、今後 GEOSS が担うべき役割をとりまとめたステートメントを採択する予定です。

（添付資料：全球地球観測システム（GEOSS）について）

2. 主催者：GEO事務局、文部科学省

3. 開催日：平成29年1月11日（水）～1月13日（金） ＊最終日は午前中のみ

4. 場　所：東京国際交流館

（ゆりかもめ「船の未来館」東口より徒歩約3分）

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/kyoten/tiec/index.html

5.　ウェブサイト： https://geoss-ap-symposium9.org/

6.　当日取材：

メディアの皆様に取材いただく際、専用席を準備しますので、平成29年1月6日（金）17時までに下記に事前にお申し込み下さい。なお、初日の午前中のみ同時通訳が入る予定です。

第9回　GEOSS AP Symposium事務局（（財）リモート・センシング技術センター内）
E-mail: geoss-ap9@restec.or.jp　**FAX**：03-5777-1580

＜担当＞　研究開発局環境エネルギー課
原田（内線 4476）/過外（内線 4473）
電話：03－5253－4111（代表）　03－6734－4143（直通）

参考添付

全球地球観測システム（GEOSS）について

（１） 概要

- G8 エビアンサミット(2003 年)において、全球的な地球観測の重要性が確認され、2004 年に東京で開催された第 2 回地球観測サミット（我が国から小泉総理、河村文部科学大臣が出席）において、「全球地球観測システム（GEOSS: Global Earth Observation System of Systems)」の枠組文書が採択された。翌年開催された第 3 回地球観測サミット（我が国から小島文部科学副大臣が出席）において、「GEOSS10 年実施計画」が採択された。2015 年に開催された閣僚級会合において本計画の後継として「GEO 戦略計画 2016-2025」が承認された。
- 現在、本計画に基づき、各国が、衛星、海洋、地上観測から得られたデータやそれらのデータを活用した予測結果等を共有し、8 つの社会利益分野及びこれらに横断的な気候変動に貢献する GEOSS の推進を、各国の連携・協力のもと進めている。
- GEOSS の活動を推進するため GEO（Group on Earth Observations）が 2005 年に発足し、2016 年 12 月現在、103 ヵ国、欧州委員会（EC）及び 106 機関が参加。GEO 事務局はスイス・ジュネーブの世界気象機関（WMO）内に置かれている。

（２） 我が国の取組

- 日本は GEO の執行委員会のメンバーとなっており、文部科学省大臣官房審議官（研究開発局担当）が GEO 日本政府代表として務め、日本の活動のとりまとめを担当。
- 衛星・海洋、地球観測等を実施するとともに、GEOSS のデータ検索システムに「データ統合・解析システム（DIAS)」を接続し、地球観測データを提供。
- また、GEOSS の枠組みの下で農業、水等の分野で地球観測情報を要する取組に参加。
- さらに、GEO 事務局とともに、アジア太平洋地域における研究者コミュニティの育成や地域特有の環境問題等への共通理解を深めることを目的として「GEOSS アジア太平洋シンポジウム」を 2007 年より毎年開催。

参考添付

第 9 回 GEOSS アジア太平洋シンポジウム
～アジア太平洋地域における持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）の実施を支援する地球観測～
プログラム

第 1 日目（1 月 11 日（水））

10:30-10:35　開会挨拶（バーバラ・ライアン GEO 事務局長）
10:35-10:40　開催国挨拶（文部科学省田野瀬太道大臣政務官（予定））
10:40-11:40　基調講演 1 「アジア太平洋地域における持続可能な開発とＳＤＧｓ（仮称）」（サンジャースレン･オヨーン世界水パートナーシップ議長／前国連環境総会議長）
基調講演 2 「ＳＤＧｓの実施に貢献する科学技術（仮称）」（岸輝雄外務省参与（外務大臣科学技術顧問））
11:40-12:00　GEOSS 活動報告（GEO 事務局）
13:15-15:30　参加国・地域からの GEOSS 関連活動報告
15:30-15:45　アジア・オセアニア GEOSS イニシアティブ概要紹介
16:15-17:30　特別セッション 1「ＳＤＧｓ等の地球規模課題と地球観測の役割」

第 2 日目（1 月 12 日（木））

09:15-17:30　分科会セッション
WG1「GEOSS アジア水循環イニシアティブ」
WG2「生物多様性観測ネットワーク」
WG3「炭素・温室効果ガスイニシアティブ」
WG4「アジア太平洋地域における海洋観測及び社会」
WG5「農業・食料安全保障」

第 3 日目（1 月 13 日（金））

09:45-10:45　分科会からの報告
10:45-12:00　特別セッション 2「アジア太平洋地域の視点からの地球観測と SDGs」及びシンポジウム議論総括
12:00-12:15　宣言文採択及び閉会挨拶（GEO 事務局）